

2019年9月13日

アステラス製薬とiota社 共同研究開発契約を締結

*-極小の体内埋め込み型医療機器を用いた
新たな生体センシングおよび治療手段の実現を目指して-*

アステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 CEO:安川 健司、以下「アステラス製薬」)は、Iota Biosciences, Inc.(本社:米国カリフォルニア州、共同創業者兼共同CEO:Michel Maharbiz、Jose Carmena、以下「iota社」)と、極小の体内埋め込み型医療機器を用いた新たな生体センシングおよび治療手段の実現を目指し、共同研究開発契約を締結しました。本契約に基づき、アステラス製薬とiota社は今後共同で、アンメットメディカルニーズの高い複数の疾患を対象として、埋め込み型医療機器の詳細な仕様を検討し、前臨床試験を実施します。

iota社は、バイオエレクトロニクス分野に特化したスタートアップ企業です。iota社は、電力供給および無線通信手段に超音波を用いる独自の技術を有しており、バッテリーやケーブルの搭載が不要で、大きさが数ミリ以下と極めて小さい埋め込み型医療機器を開発しています。

従来の埋め込み型医療機器は、電力を供給するためのバッテリーや、情報通信のためのケーブルや大きな電子回路の搭載が必要であり、サイズの小型化に課題がありました。これに対し、アステラス製薬とiota社がこれから開発する、バッテリーやケーブルの搭載が不要な極小の埋め込み型医療機器は、組織や臓器の状態を診断するこれまでにない生体センシングや、神経や筋肉への電気刺激による治療への応用が期待されています。

iota社の共同創業者兼共同CEOであるMichel MaharbizとJose Carmenaは、「私たちは、極小の埋め込み型医療機器が、従来の治療手段や診断方法との組み合わせ、あるいはその代替として使用される将来像を思い描いています。今回の契約締結により、アステラス製薬とともに、この革新的な技術を世界中の患者さんのもとにお届けできることを期待しています」と述べています。

アステラス製薬の代表取締役副社長経営戦略担当である岡村直樹は、「このたび、バイオエレクトロニクス分野におけるパイオニアが率いるiota社と提携できることを大変嬉しく思

います。私たちは医療用医薬品(Rx)事業で培ってきた強みと異分野の技術・知見を融合した、革新的なヘルスケアソリューション(Rx+TM(1))の創出を目指しています。本提携はその取り組みの一環です。引き続き、この分野へ積極的に投資していきます」と述べています。

なお、アステラス製薬は米国子会社の Astellas Venture Management LLC (AVM)を通じて、2018年5月にiota社に出資しています。

本件によるアステラス製薬の2020年3月期連結業績への影響は軽微です。

以上

(1) Rx+TM事業: Rx事業で培ったアステラス製薬の強みをベースに、最先端の医療技術と異分野の先端技術を融合させることで、Patient Journey(診断、予防、治療および予後管理を含む医療シーン全般)全体において患者さんに貢献し、単独で収益を生み出せる事業

アステラス製薬株式会社について

アステラス製薬は、東京に本社を置き、「先端・信頼の医薬で、世界の人々の健康に貢献する」ことを経営理念に掲げる製薬企業です。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>)をご覧ください。

iota Biosciences 社について

iota社は、2017年に設立され、バイオエレクトロニクス医療の未来を切り開く基盤の構築にフォーカスしたスタートアップ企業です。Michel MaharbizとJose Carmenaおよびカリフォルニア州立大学バークレー校の研究者によって開発された「ニューラルダスト」と呼ばれる画期的な医療機器に関する技術を含め、米国の著名な大学の技術の独占的な権利を保有しています。電力供給およびデジタルの双方向無線情報通信手段として超音波を用いるiota社独自の技術により、体内に埋め込んだ数ミリメートルの医療機器を通じて、神経や臓器の状態を記録したり刺激したりすることで、疾患に対するこれまでにない診断方法や治療手段の実現につながる可能性があります。

注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i)医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii)為替レートの変動、(iii)新製品発売の遅延、(iv)新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v)競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi)第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

お問い合わせ先:

アステラス製薬株式会社

広報部

TEL: 03-3244-3201 FAX: 03-5201-7473